

# 誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立南葛西第三小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和8年度の目標	50.0%	50.0%
令和7年度の目標	50.0%	50.0%
令和6年度の結果	52.5%	51.3%
令和5年度の結果	53.2%	55.7%

令和6年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第6学年	50.6%	50.6%
第5学年	50.0%	50.0%
第4学年	49.4%	49.4%
第3学年	50.6%	49.4%



## 目標達成に向けた取組

	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>「江戸川区国語授業スタンダード算数授業スタンダード」を活用して、授業改善を推進する。</li> <li>校内OJTを活用し、専門性の高い教員の技術や知識を継承していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週2回東京ベーシックドリルを活用した学習を行い、漢字と計算技能の定着を図る。</li> <li>よむYOMUシートを年間30回活用し、児童の読解力や語彙力の向上を図る。</li> <li>全校（1年生は2学期から）算数科において、習熟度別指導を取り入れ、きめ細かな指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区学力調査の結果を受けて作成した個人カルテを活用し、児童の苦手を保護者と共有し、その解消に向けた課題への取り組み方に協力を呼びかける。</li> <li>各学期に1週間ずつ計3回の江戸川っ子Study weekを実施し、〔学年×10+10〕分間の家庭学習習慣が身に付くよう協力を呼び掛ける。</li> </ul>
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材研究を行い、支援の手だてを明確化して授業を行う。</li> <li>年間を通して計画的に補習教室を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間11回の放課後学習教室および、C・D層の児童を対象にしたEDOスクでの学習を通して、個に応じた指導を行うことで、算数の既習事項の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Study weekを節目にして、各学級で内容や時間配分などを共有することで、目標時間に到達していない児童が見通しをもって家庭学習に取り組めるようにする。</li> <li>個人カルテをもとに自身の苦手な単元や内容を認知できるようにし、苦手解消のためにドリルパークで取り組むべき場所を明確に示すことで、自主的な学習を進められるようにする。</li> </ul>
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査「児童・生徒質問紙」における設問「国語、算数の勉強は好きですか」への肯定的な回答が80%以上を達成しているか。</li> <li>全国学力・学習状況調査「児童・生徒質問紙」における設問「国語、算数の授業の内容はよく分かりますか」への肯定的な回答が80%以上を達成しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学期の東京ベーシックドリル算数診断シートにおける各学年の目標到達値の通過率を達成しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Study weekの全児童の目標達成率が80%以上になっているか。</li> </ul>